新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里
シジュウカラ第92号

§　愛鳥学習会を開催しました　§

3月17日(日)に新潟県生涯学習推進センターに於いて愛鳥学習会を開催し、77名の方が来場されました。

この学習会は、野鳥観察を始めたばかりの方を対象に、野鳥の基礎知識を学ぶイベントとして、毎年開催しており、今年は、「身近に見られる鳥」をテーマに講演いただきました。

初めは、日本野鳥の会新潟県会長石部久氏より「街の公園に見られる鳥の生態～鳥の渡りの科学～」と題し、春の花が咲く公園に、亜高山帯に生息する鮮やかな羽色のオオルリやキビタキなどが見ることができる理由について講演いただきました。鳥は繁殖期

はく製を使い説明する石部氏

を迎えると、繁殖に適した場所へ長距離を移動する性質があるが、飛ぶために軽量でなければならないのは、頻繁にエネルギー補給が必要となり、生息場所以外の平地の公園などに立ち寄り、花の蜜などを補給して移動することなどを公園内で撮影した写真を交えて講演されました。

「身近にいる鳥たちの山での暮らしが知れて勉強になりました」などの感想がありました。

２人目は、会場の生涯学習推進センターがある県立鳥屋野潟公園の管理をしている、(株)アール・ケー・イー所長浅野涼太氏より、「鳥屋野潟の環境と鳥」と題し、鳥屋野潟成り立ちや多様な生物の関係性について、発表いただきました。

昆虫と野鳥との関係を説明する浅野氏

鳥屋野潟の面積はディズニーランド３個分ほどで多くの野鳥が生息しているとのこと。広大な冬のヨシ原では、ヨシに潜む昆虫をエサにするオオジュリンやネズミなどをエサとする猛禽類のチュウヒを見ることができ、新緑の時期には夏鳥のオオルリやキビタキが姿を見せるとのこと。

そして、暖かくなると水辺にはユスリカが生まれ、幼虫期間は水底で暮らし、成虫になると蚊柱をつくります。ユスリカはツバメなどのエサになり、さらに、これらの鳥を猛禽類のトラフズクがエサにしていて、昆虫と鳥の関係性が鳥屋野潟の生態を形成する上で非常に重要であることなどを発表いただきました。

軽快な内容で参加者からは、「続きの講演を聞きたい」など感想がありました。

会場の様子

§　新潟県野鳥保護の集い（瓢湖）　§

2月17日(日)に阿賀野市福祉会館に於いて、「新潟県野鳥保護の集い」を開催し98名の方から参加いただきました。

探鳥会

毎年、愛鳥モデル校の水原小学校も参加する探鳥会では、日本にほとんど飛来しない県内でも2例目となる「コスズガモ」が確認され、参加者は指導員から説明を受けながら、観察することができました。その他、ヒドリガモやオナガガモが確認することができ、ミコアイサも姿を見せてくれました。猛禽類ではオオタカ、ノスリ、ハヤブサを観察しました。

主役のコスズガモ

講演

今年は「雪国を生きる水鳥たちの生活」と題し日本野鳥の会新潟県副会長岡田成弘氏より講演いただきました。

新潟平野には水田が広がり、湖沼が点在するため、水鳥にとって生息しやすい環境が整い、ハクチョウを始めとして多くの水鳥が飛来するとのこと。

日本で越冬するコハクチョウの3割程度は新潟に飛来する話や、アラスカのハクチョウの繁殖地との違いについて写真を交えて説明されました。

また、カンムリカイツブリの繁殖についても説明され、求愛や、水面上で抱卵する様子を貴重な写真を使用して説明していただきました。

講演会の様子

その他

ガンカモ類生息調査実施結果を新潟県野鳥愛護会副会長山田清氏より発表いただき、集いの最後には、県内各地の冬鳥情報として新潟県野鳥愛護会副会長千葉晃氏より発表いただきました。

また、平成30年度野鳥写真展表彰式も行い、入賞者へ表彰状の授与も行われました。

§“着任のご挨拶”　所長　上原　伸　§

4月から愛鳥センター紫雲寺さえずりの里に赴任しました、上原といいます。出身は上越市頸城区なので単身赴任です。

実家は、ほくほく線沿線で、大池いこいの森はランニングコースになっています。あの有名な朝日池も走っていけば30分もかからない距離にあります。

こちらに来てからも朝ランニングをしています。最初は家の近辺を探索がてら走っていましたが、現在は保安林の中の道がランニングコースになっています。道といっても草が生い茂り、走れるところは直線で１ｋｍもないのですが。

ランニングは、8年前佐渡に赴任した時、朝の5時に相川の町でも野生復帰した朱鷺が見られるといわれ、それならランニングしながら朱鷺を探そうとしたのが始まりでした。それから2年間、朝の相川を走りましたがついに朱鷺には会えませんでしたが、夏近くまで鳴いているウグイスは鳴き方が下手くそだということだけは理解しました。

上原新所長

朝走っていると沢山の鳥の声が聞こえてきます。今までは気にも留めていなかったのに、ここに赴任してきてやたらと気になります。鳥の姿が目に入ると足を止めて見てしまいます。私も今年56歳になります。もう無理しないでゆっくり走れということなのでしょうか。

§傷病鳥獣の収容状況§

平成30年度　12月～3月の傷病鳥獣収容結果

収容NO.	種類	11月末収容数	収容数	放鳥獣	譲渡返還	死亡	3月末収容数	収容NO.	種類	11月末収容数	収容数	放鳥獣	譲渡返還	死亡	3月末収容数
（鳥類）									クマタカ	1					1
1	キジ		1			1	0	14	フクロウ	2	2			2	2
	マガン	1					1	15	チョウゲンボウ		2			1	1
2	コハクチョウ	8	10	1		8	9		ハヤブサ	1					1
3	オオハクチョウ		1			1	0	16	モズ		1			1	0
	マガモ	1				1	0		ハシボソガラス	2					2
4	カルガモ	1	1			1	1	17	ヒヨドリ		2			2	0
5	コガモ		2	1		1	0	18	ウグイス		2	2			0
6	カイツブリ		1	1			0	19	ムクドリ		2			2	0
7	カンムリカイツブリ		1			1	0		マミジロ	1					1
8	キジバト	2	3	2		1	2		クロツグミ	1					1
9	アオバト	3	1	1			3		シロハラ	1		1			0
	オオミズナギドリ	1				1	0	20	シメ		4	2		2	0
	ヨタカ	1				1	0	21	ドバト	1	2	3			0
10	コチドリ		1			1	0	小計		37	46	17	0	31	35
11	ヤマシギ		1	1			0	（獣類）							
	ウミネコ	3					3								
12	トビ	5	1			1	5	小計		0	0	0	0	0	0
13	ノスリ	1	5	2		2	2	合計		37	46	17	0	31	35

平成30年12月1日～平成31年3月31日までの収容数は、鳥類21種46羽、獣類0種0頭で、昨年度の同時期（鳥類102羽、獣類2頭）と比べ鳥類、獣類とも減少した。

「イトせず鳥を傷つけないために
～釣り糸・釣り針事故

釣り針が巻き付いたウミネコ

愛鳥センターには様々な原因で野鳥が収容されますが、なかでも痛々しいもののひとつが釣り針・釣り糸事故にあった鳥たちです。

あるダイサギは、左翼に釣り針が刺さり、釣り糸がクチバシに巻き付いて口を開けられない状態でセンターにやってきました。飛べずに家の壁に衝突したようです。釣り糸と釣り針を外し、エサをあげようと口を開けると、なんとクチバシの中にも上下に二またの釣り針が刺さっています。刺し傷は赤黒く腫れ、ウミがたまっていました。慎重に釣り針を抜き、消毒して薬をあげると、よほどお腹が減っていたのかあっという間にエサを食べ、数日後に元気になって飛んでいきました。

今回のダイサギは運良く保護されたため、処置を施し野生に帰すことができました。

しかし、多くの鳥は、人が放置した釣り針をエサと誤って飲み込むと、口の中などに刺さってエサを食べられなくなり、弱って死んでいくことがほとんどです。釣り糸が足に巻き付いた場合、足がちぎれ落ちてしまうこともあります。

楽しいはずの釣りですが、釣り針がついたまま捨てられた魚や、釣り針、釣り糸を放置することで、人が意図しないところで傷つき、死んでいく鳥たちがいます。

釣り糸・釣り針は必ず持ち帰っていただくよう、お願いします。

§12～3月の採鳥会・観察会§

12/2（日）鳥屋野潟市民探鳥会　8:00～10:00　（晴れ）
場所：鳥屋野潟公園　参加者：89名　観察種：47種【①】（にいがた野鳥の会・日本野鳥の会新潟県・新潟市 共催）

水鳥はカモ類、カイツブリ類、クイナ類が観察でき、キツツキの仲間はコゲラ、アカゲラ、アオゲラの3種が観察できました。また、ミソサザイやベニマシコなども確認することができました。

12/10（日）五十公野公園探鳥会　9:00～11:00　（曇り時々雪）
場所：五十公野公園　参加者：21名　観察種：24種【②】

開始前からアトリの群れが飛び回り、升潟にはマガモやオナガガモがたくさんいる中にハシビロガモ、ミコアイサも確認できました。アメリカコガモも2羽確認できました。上空にはオオタカが姿を見せ、湖面がざわつき始めましたがしばらくすると去って行き、林ではシジュウカラ、キクイタダキ、ミヤマホオジロを見ることができ、雪がちらつく中の探鳥会でした。

升潟にはカモがいました

1/27（日）足跡ウォッチング　9:00～11:00（曇り）
場所：愛鳥センター周辺　参加者：20名　観察鳥種：種【③】（紫雲寺記念公園ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝﾊﾟｰﾄﾅｰ共催）

足跡観察中です

前日の積雪で動物の足跡が見つけにくい条件での開催となりましたが、キジ、ウバタムシなどの昆虫や樹木の冬芽を観察しました。最後にノウサギの足跡も見つけることができました。

野鳥では、ヤマガラ、シジュウカラ、オオタカも確認しました。

【観察したもの】キジ・ノウサギ足跡、野鳥（コハクチョウ・マガモ・オオタカ・キツツキ類、・カラス類・ツグミ・ハクセキレイ）昆虫足跡、樹木の冬芽、など。

2/10（日）海鳥を見る会　9:00～11:00　（雪）
場所：網代浜漁港～東港　参加者：24名　観察種：22種【④】

日本海から吹きつける風に雪が混じる状況での探鳥会となりました。漁港内船着場ではヒドリガモ、スズガモ、コガモを観察することができました。上空ではウミネコ、セグロカモメが飛びエサを探している様子を確認できました。沖に移動し東港湾内ではカモの群れの中にトモエガもオス・湾内沖には、マガモの群れ、カンムリカイツブリ・ハジロカイツブリ、イソヒヨドリ♀を見ることができました。

鳥合せでは、恒例となった講師による映像での海鳥の解説がありました。

寒風のなか海鳥を探します

3/3（日）ハクチョウを見送る会　9:00～10:50　（晴れ）

場所：お幕場大池　参加者：23名　観察種29種【⑤】

春の訪れを思わせる好天の中で開催となり、開始前からハクチョウが飛び立ちました。ハクチョウの姿が見られない池では、オナガガモ、キンクロハジロの群れが確認されました。松林内散策路ではホオジロやカワラヒワのさえずり、エナガ、キクイタダキも見ることができました。池にも戻ると、トビやノスリが旋回していました。天候にも恵まれ充実した探鳥会となりました。

水鳥を観察中

探鳥会の観察種

No.	種名	①	②	③	④	⑤
1	キジ	●				
2	コハクチョウ	●		●		●
3	オオハクチョウ	●				●
4	オカヨシガモ	●	●			
5	ヨシガモ				●	
6	ヒドリガモ	●	●		●	●
7	マガモ	●	●	●	●	●
8	カルガモ	●	●		●	●
9	ハシビロガモ	●	●			●
10	オナガガモ	●	●		●	●
11	トモエガモ	●			●	
12	コガモ	●	●		●	●
13	ホシハジロ	●	●		●	●
14	キンクロハジロ	●	●			●
15	スズガモ		●		●	
16	ミコアイサ	●	●			
17	カイツブリ	●	●			
18	カンムリカイツブリ	●			●	
19	ハジロカイツブリ	●			●	
20	キジバト	●		●		
21	カワウ	●	●			
22	ウミウ				●	
23	アオサギ	●				●

No.	種名	①	②	③	④	⑤
24	ダイサギ	●				●
25	チュウサギ	●				
26	クイナ	●				
27	オオバン	●				
28	ユリカモメ					●
29	ウミネコ				●	
30	カモメ				●	●
31	セグロカモメ				●	
32	オオセグロカモメ				●	
33	トビ	●	●	●	●	●
34	カワセミ	●				
35	オオタカ		●	●		●
36	ノスリ					●
37	コゲラ	●	●	●		●
38	アカゲラ			●		●
39	アオゲラ			●		
40	ハヤブサ					●
41	モズ	●		●		
42	ミヤマガラス					●
43	ハシボソガラス	●		●	●	●
44	ハシブトガラス	●	●	●	●	●
45	キクイタダキ		●	●		●
46	ヤマガラ		●	●		

No.	種名	①	②	③	④	⑤
47	シジュウカラ	●	●	●		●
48	ヒヨドリ	●		●		●
49	ウグイス	●				
50	エナガ			●		●
51	メジロ	●		●		●
52	ミソサザイ	●				●
53	ムクドリ	●				●
54	シロハラ	●		●		
55	ツグミ	●		●	●	●
56	イソヒヨドリ				●	
57	スズメ	●				●
58	ハクセキレイ	●		●	●	
59	セグロセキレイ		●			●
60	アトリ		●			
61	カワラヒワ	●				●
62	ベニマシコ	●				
63	ホオジロ	●				●
64	カシラダカ	●	●			●
65	ミヤマホオジロ		●			
66	アオジ	●	●			
67	クロジ	●				
68	オオジュリン	●				
	計	47	39	14	24	29

§“着任のご挨拶”　職員　佐藤　悠子　§

４月より愛鳥センターに入りました。嘱託員の佐藤です。おもに普及・啓発を担当しています。よろしくお願いします。

私は、出身の小学校が愛鳥モデル校だったこともあり、小学生の頃に野鳥にはまりました。それ以来、飽きることなく鳥好きが続いています。愛鳥センターにも時々遊びに来ていたので、今そこで働いているというのは少し不思議な気持ちです。

以前は一般企業で働いていたので、仕事は仕事、趣味は趣味、と完全に別でした。鳥は休日に見に行くものだったので、最初は、仕事なのに鳥を見ていいの？鳥のこと調べていいの？と、仕事で鳥を扱っていることに感覚的に慣れず、なんだか落ち着きませんでした。今は仕事も鳥、趣味も鳥、気づけば毎日鳥を見て鳥のことを考えているという幸せな毎日を過ごしています。

出勤日には欠かさずに探鳥路を歩いていますが、鳥の種類が多いことに驚いています。探鳥路は林が明るく、適度にやぶや水辺もあり、いろいろな環境を好む鳥がいるので、今日は何がいるだろうといつもわくわくしています。

これから愛鳥センターの観察会や展示等を通して、鳥のおもしろさや楽しさをたくさんの方に伝えていけるようがんばっていきますので、よろしくお願い致します。

探鳥会で講師をする佐藤職員

§　平成 30 年度野鳥写真展　§

平成 30 年度野鳥写真展は 52 名の方から 179 点の応募があり初出展は 24 名でした。

金賞は安野恵津子氏の中蒲原地区で撮影した「おなかすいたよー」（トラフズク）が受賞されました。審査員からは、夜の猛禽の表情を捉え、野生の凄みが伝わり品格や貫禄を感じ、生態を観察し瞬間をうまく捉え、木立ちの中にいることで周りの緑がやわらか味を出しており、鳥の表情との調和がとれていると講評されました。

全体としては、カメラの性能が良くなったこともあり、飛翔姿を捉えた作品が多かった。

鳥のみを捉えている構図が多いが、生息環境の空間をもう少し考慮すると、もっと良い作品になるとのこと。

金賞：安野恵津子氏
「おなかすいたよー
（トラフズク）」

銀賞：山崎悦子氏「キバシリ」

銀賞：藤石正明氏
「いい天気―(アカショウビン)」

平成30年度野鳥写真展入賞者一覧

賞	タイトル（鳥名）	作者氏名	撮影場所・時期
金賞	おなかすいたよー（トラフズク）	安野　恵津子	中蒲原　6月
銀賞	いい天気ー（アカショウビン）	藤石　正明	南蒲原　6月
	キバシリ	山崎　悦子	南蒲原　4月
銅賞	イスカ♂	小沢　栄一	西蒲・新潟　4月
	先に行っちゃダメダメ（カルガモ）	髙野　俊夫	北蒲　5月
	ツバメ親子	山崎　勝明	西蒲・新潟　6月
特別賞	マミジロキビタキ	岡本　徳一	西蒲・新潟　5月
佳作	アオサギ	阿部　繁	北蒲　2月
	お待たせー（チョウゲンボウ）	安野　邦夫	北蒲　4月
	荒磯に生きる（クロサギ）	大谷　邦廣	岩船　11月
	湖上の決闘（カンムリカイツブリ）	小柳　淳	北蒲　6月
	求愛給餌？（ヒレンジャク）	金子　俊彦	中頸　4月
	コルリ	酒井　邦夫	中頸　5月
	鳥屋野潟の春（ノビタキ）	鹿間　裕行	西蒲・新潟　4月
	とったどー！(アカショウビン)	鈴木　光一	北蒲　7月

◆　12～3 月の利用者数

月	12 月	1 月	2 月	3 月	年度累計	開館累計
来館者数	248	167	324	558	10, 150	620, 315

館内設置のトキ募金箱の報告

平成 31 年 1 月～平成 31 年 4 月 **3, 452 円**

累計**２８９，９８９円**

みなさまの暖かい善意に深く感謝いたします。
今後ともご協力をお願いいたします。

新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里
開館時間：午前 9 時～午後 4 時
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）
〒957-0231 新発田市藤塚浜海老池
Tel 0254-41-4500／Fax 0254-41-4501
HP：http://www.pref.niigata.lg.jp/aicho/
E-mail：ngt035310@pref.niigata.lg.jp

9 月までの行事予定

探鳥会《参加費、申込み不要です。現地集合･解散となります。双眼鏡や図鑑の貸出しがあります。》

・シギ･チドリ観察会（聖籠町海のにぎわい館集合）
　8/25（日）9:00～11:00
・秋の公園探鳥会（五十公野公園集合）
　9/22（日）9:30～11:30

観察会ほか

・工作教室（愛鳥センター集合）
　7/28（日）　13:30～15:30　　定員 20 名
　※7/21（日）までにお申込みください。
・子ども野鳥教室！
　7/28(日)　9:30～11:00 鳥の見つけ方・調べ方
　8/4（日）　9:30～11:00 鳥の体のつくり
　※7/21（日）までにお申込みください。
・巣箱作り教室（愛鳥センター集合）
　第 1 回 8/17（土）　13:30～16:00　定員 8 組
　第 2 回 8/18（日）　13:30～16:00　定員 8 組
　※8/9（金）までにお申込みください。
・マツムシの声を楽しむ会（愛鳥センター集合）
　8/31　（土）　18:00～20:00

特別展

・夏季特別展（愛鳥センター2 階）
　7/13（土）～9/16（月・祝）
・愛鳥ポスター展（愛鳥センター2 階）
　9/28（土）～10/27（日）